

ロタウイルス

★病気の説明

ロタウイルス胃腸炎は、乳幼児に多くおこる感染症胃腸炎のひとつで、ロタウイルスというウイルスが原因です。主に生後3～24か月の乳幼児におこりますが、ピークは生後7～15か月です。生後3か月以降に初めて感染すると重症化しやすくなります。ロタウイルス胃腸炎の多くは突然の嘔吐に続き、水のような下痢をおこします。発熱を伴うこともあり、回復には1週間ほどかかります。また、ほとんどの場合は特に治療を行わなくても経口での水分や電解質補給だけで回復しますが、時に脱水、腎不全、脳炎・脳症などを合併することもあり、症状が重く脱水が強い場合には入院が必要となることもあります。

★予防接種の受け方

<1価・ロタリックスの場合>

- ・接種対象年齢：生後6～24週（1回目は生後14週6日までが望ましい）
- ・接種間隔・接種回数：4週以上あけて2回を経口接種（飲むワクチンです）

<5価・ロタテックの場合>

- ・接種対象年齢：生後6～32週（1回目は生後14週6日までが望ましい）
- ・接種間隔・接種回数：それぞれ4週以上あけて3回を経口接種

出典（病気の説明）：よぼうせっしゅのはなし(2024年)抜粋 日本ワクチン産業協会

